

大阪府佛教会

# 第55回 佛教徒大会

新型コロナウイルス終息祈願法要  
全国災害物故者追悼法要  
会員物故者追悼法要

講演会

『自らを燈火とし法を燈火として生きる』

佛教大学長

田中 典彦 師

浄土宗総本山 知恩院御影堂

〈日 時〉令和2年 11月25日 (水) 午後3時30分開会

〈会 場〉ホテル日航大阪 5F 鶴の間

〈主 催〉大阪府佛教会・大阪府佛教青年会 〈協 賛〉大阪市仏教会

# 大会次第

開会の辞

法 要……………(PM3:30)

新型コロナウイルス終息祈願法要  
全国災害物故者追悼法要  
会員物故者追悼法要

	差定	配役
一、殿鐘三会		
一、七下鐘導師入堂	導師	東光院 村山 廣甫 大方丈
一、拈香法語		
一、上香普同三拝	侍者	龍海寺 烏田 全祥 方丈
一、献茶湯		
一、浄道場	侍香	長樂寺 田伏 公英 方丈
一、般若心経三遍	堂行兼維那	洞源庵 山本 哲也 方丈
一、大般若経転読		
一、普門品偈	典礼	洞雲寺 村山 博雅 方丈
一、消災咒三遍		
一、回向	両班	大阪曹洞宗青年会有志 六名
一、普同三拝		
一、導師退堂		
一、散堂		

以上

順不同

(協力…曹洞宗大阪府宗務所)

## 式典

挨拶	挨拶	大阪府佛教会	会長代理	村山廣甫
表彰	表彰	住職在任 30 年		
祝辞	祝辞	(公財) 全日本仏教会		御代表
		大阪府知事		吉村洋文 氏
		四天王寺管長		加藤公俊 猯下
		大念佛寺管長		吉村暲英 猯下
		近畿宗教連盟理事長		荒木元悦 師

祝電披露

## 講演会

「自らを燈火とし法を燈火として生きる」

佛教大学長  
田中 典彦 師

※記念パーティーは新型コロナウイルス感染症の  
感染拡大防止の為中止させていただきます



**村山 廣甫**  
(むらやま こうほ)

- ◆新西国第十二番霊場  
西国七福神第一番霊場  
**萩の寺東光院住職**  
(霊場名は「萩の寺」)
- ◆曹洞宗 審事院長  
(宗門三権のうち司法権の長)
- ◆曹洞宗大教師

全一佛教活動略歴

- ・昭和62年(1987)  
世界仏教徒青年連盟(WFBY)  
人道奉仕常設委員会議長
- ・平成3年(1991)  
大阪佛教テレホン  
相談室会長(10宗派)
- ・平成15年(2003)  
大阪府佛教会副会長
- ・平成16年(2004)  
豊中市佛教会会長  
(創立70周年)
- ・平成23年(2011)  
国際宗教同志会(IRF)  
会長(ローマ教皇特別謁見)

主著

- 先祖をまつる(ひかりのくに)
- 宗教判例百選(有斐閣)
- 萩の寺三部作全4巻(便利堂)

## ご挨拶

人類の歴史はある意味で、「感染症」を如何に克服していくかの道程でもありました。天然痘・赤痢・コレラにスペイン風邪など・・・地球上の大先輩である新型コロナウイルス COVID-19 との闘いが、今全世界を席卷しています。

我が国も非常事態宣言を出しました。現在お医者さん・看護師さんはじめ医療関係従事者による、懸命の努力がなされていることは、皆人の知るところです。

この献身的なご努力に対し、大阪府佛教会会員一同ここに深く感謝の念を表します。

このように困難な現況にもかかわらず、「継続は力なり」と第55回大阪府佛教徒大会が開催されることになりました。これひとえに会員各位をはじめ、各地域佛教会、佛教青年会、寺院、学校法人、協賛企業団体各位のご理解とご支援ご協力のたまものであり、合わせて厚く御礼申し上げます。

今回の法要は、曹洞宗の担当で8世紀以来の伝統を持つ「大般若会」を修させていただきますことになりました。大般若経600巻転読の功德は、コロナウイルス終息の向かっての祈願は言うに及ばず、不運にも今回の新型コロナウイルスに感染してお亡くなりになられた方々をはじめとする全国の天災地変・病没の物故者、そして本会の会員物故者をも追悼させていただきます。

講演の部は、佛教大学長 貝塚市孝恩寺住職 田中典彦師の御高説を拝聴いたします。

演題は「自らを燈火とし法を燈火として生きる」でございます。

大阪府佛教会は、先人たちが残された跡かたを踏まえて、社会における宗教的情操の涵養と、地域の宗教的文化の創造、ひいては人と自然との共生を祈る伝統仏教教団の社会的責務を果たすべく努力していく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

今回の大会に結縁された皆様方に、仏法僧の三宝の祝福があらんことを！

合掌



# 感謝状

大阪府佛教会 様

あなたは大阪府新型コロナウイルス  
助け合い基金のため多額の金員を  
寄附し医療と療養に従事する  
人々の支援に寄与されましたので  
深く感謝の意を表します

令和2年6月19日

大阪府知事 吉村 洋文





## 田中 典彦 師

(たなか のりひこ)

佛教大学長

(ぶっきょうだいがくちょう)

### 講師紹介

#### 〈プロフィール〉

1944年4月24日生

大阪府出身 孝恩寺住職

#### 〈学歴〉

1968年3月 大阪教育大学教育学部文学科哲学倫理学専攻卒業

1970年3月 佛教大学大学院文学研究科仏教学博士前期課程修了

1973年3月 佛教大学大学院文学研究科仏教学博士単位取得満期退学

1976年3月 インド国立ヴィシュバ・バーラティ大学哲学科 Ph.D コース  
博士単位取得満期退学

#### 〈職歴〉

1976年4月 佛教大学文学部専任講師 (～1982年3月)

1982年4月 佛教大学文学部助教授 (～1994年3月)

1994年4月 佛教大学文学部教授 (～2013年3月)

2013年4月 佛教大学仏教学部教授 (～2015年3月)

2002年4月 佛教大学四条センター長 (～2005年3月)

2005年4月 佛教大学総合研究所長 (～2007年3月)

2007年4月 佛教大学副学長 (～2009年3月)

2013年4月 佛教大学宗教教育センター長 (～2018年3月)

2018年4月 佛教大学附属幼稚園園長 (～2020年4月)

2015年4月 佛教大学学長 (～現在)

2019年12月 佛教教育学園理事長 (～現在)

#### 〈専門〉

インド六派哲学、原始仏教思想、仏教と自然

#### 〈所属学会〉

日本印度学仏教学会、日本仏教学会

#### 〈論文〉

Padarthadharmasamgraha of Prasastapada vol.1 ; Dravyaprakarana  
[Part 1 ; Variant Readings of the Manuscripts (1)]

「存在と行為一業の意味とその問題点一」

(大学院紀要編集委員会編刊、『佛教大学大学院研究紀要』3号)

「Paralokaisana ; 人間存在・生と死」

(日本佛教学会西部事務所『日本仏教学会年報』)

ほか多数



# 大阪府佛教会

事務局：〒552-0021 大阪市港区築港1丁目13-3（釋迦院内）  
TEL(06)6571-5710 / FAX(06)6573-5540